

## フィンドレー大学 文化政策学部国際文化学科 3年生 田口実里

まだまだ先だと思っていた3月があっという間に終わり、4月になりました。少しずつ帰国を実感しています。私は、英語力で悩んだり、人間関係で悩んだりすることは減りました。それよりも、日本に帰ったら留学の経験をどのように生かせるかを考えることが増えてきて、次のステップに進んでいるのだなと思っています。

### 『International Night』

このイベントは、学生が中心となり、自国の文化を披露するものです。自国の料理を作ったり、歌を歌ったり、ダンスを披露したりするなど、できることは幅広く学校側も協力してくれました。私たち日本人は、「焼きおにぎり」「お味噌汁」「みたらし団子」「緑茶」を手作りして提供し、アニメ「推しの子」の主題歌であるアイドルの歌でオタ芸をしました。また、日本と台湾と韓国の友達とバンドを組み、一曲披露しました。日本文化に興味を持ってくれる人が本当に多いことや、友達やここで知り合った人たちが見に来てくれたのが本当に嬉しかったです。準備と練習で毎日本当に忙しかったですが、とても良い経験になりました。



### 『トルネード警報』

放課後、ビジネスビルディングという建物で勉強をしているときに校内中から聞いたことのないアラームが響き渡りました。携帯電話にも警報が届いていて、竜巻が来るとのことでした。初めての経験だったのでどうしたらいいかわからなかったのですが、現地の学生が声をかけてくれて、地下に移動するように誘導してくれました。30分以上は待機していたと思います。なにも被害は起きなかったので良かったです。なかなかできない経験をしました。



## 『イースター』

3月末はイースターの関係で連休がありました。私は友達と一緒に、ここで知り合ったある家族のお家に行きました。このご家族はサンクスギビングのときにも招いていただいて、今回もたくさん美味しいご飯を振舞ってくれました。このお家のご飯はアメリカで一番美味しいです。自分の家族のように接してくれて、本当に感謝しかありません。ご飯を食べた後には、イースターがどういうイベントなのか、日本語と英語の聖書を読んで教えてくれました。この家族に出会えて本当によかったです。

